

## 「一秒の言葉」

二学期の行事も一段落つき、やっと学習に集中できる時期になりました。来週からは、2学期末テストです。すでに、昨日から部活動中止期間に入っています。計画的にテスト勉強に励みましょう。今まで、失敗してきた人は、何かを変えないと（変化）成功はありませんよ！さて、今回は『一秒の言葉』という詩を紹介します。

### 『一秒の言葉』 小泉吉宏

#### 「はじめまして」

この1秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

#### 「ありがとう」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

#### 「がんばって」

この1秒ほどの短い言葉に、  
勇気がよみがえってくることもある。

#### 「おめでとう」

この1秒ほどの短い言葉に、  
幸せにあふれることもある。

#### 「ごめんなさい」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さを見ることがある。

#### 「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉に、  
一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

人は生きる。

昭和 60 年の大晦日、民放の「ゆく年くる年」で1回だけ放送されたという幻のCMです。商品名はいっさい出されず、学校の校舎を背景に、漫画家の小泉吉宏さんの左の詩が流れるイメージCMでした。放送後には、その短い言葉に打たれた人たちの反響が広がり、平成 20 年 6 月 10 日の時の記念日に、ハイビジョン映像でのリメイクが再登場しました。また、この年から、小学校の副読本にも使われるようになりました。

日常何気なく発する、一秒に満たない言葉。たった一秒に満たない言葉で人の心や人生を幸せにしたり、その人の人生を大きく良い方へ導いたりするきっかけになります。また、逆に、何気なくはなったその一秒の言葉が自分の気づかないところで、身近な人の心を傷つけたり、誰かの人生を良くない方向へ導いたりする場合があります。

さて、あなたは左の詩のような一秒に満たない言葉をどれくらい使っているでしょうか。考えてみましょう！

## 「読書の秋」

「読書の秋」です。読書の秋の由来は、夏から秋にかけて日暮れが早まり、夜が長く感じるので、読書をするのにふさわしいという意味から来ているそうです。紫原中では 11 月は読書月間とし、図書館ではさまざまなイベントが計画されています。その一つとして、一日の貸出冊数の増加です。通常、平日 2 冊、週末 3 冊の貸し出しですが、この期間は、平日 3 冊、週末 4 冊としています。また、図書館ビンゴを実施しており、2列揃ったら、プラスワンチケット（1冊多く借りることができる）のプレゼント、全てのマスを埋めるとくじを引いて商品を得ることができます。この機会に多様な種類の本に触れましょう。

